

「提案の事前の準備が出来ていない」「ウンをつかれた」

総務委員会で産業建設グループ集約の新提案に批判続出

市議会総務常任委員会が10月29日開かれ、総合事務所の産業建設グループの集約について審議されました。左表の通り、市から4つのグループに分ける新提案が示されましたが、委員からは「提案に当たって、事前の準備が出来ていない」「このままでは総合事務所が立ち行かなくなる根拠がない」など厳しい批判の声が噴出しました。

グループ	集約先
安塚区、浦川原区、大島区	浦川原区総合事務所
柿崎区、大潟区、吉川区	柿崎区総合事務所
牧区、中郷区、板倉区、清里区	板倉区総合事務所
木田庁舎、頸城区、三和区、名立区	木田庁舎

土橋総務管理部長から新提案の説明があった後、私が最初に質問に立ちました。私は、「合併前上越市を含む市域全域を対象にグループ分けをするというが、そうすると総合事務所の在り方を飛び越えて、市役所全体の機構にも影響を与える改革となるのではないか」「木田庁舎に三和、頸城、名立の産業建設グループを集約するとしているが、木田庁舎の誰と一緒に仕事をするようになるのか見えてこない。どういう組織になるのか図で示してほしい」と訴えました。部長は、「今回の取組は基本的に産業建設グループが担う関連業務を市役所の組織内部でどのように効率的に行うことができるかがテーマであり、行政の組織そのものを大きく動かすものではない。木田庁舎の

受け皿については検討中だ」と答えました。率直に言って、新提案をするための前提となる準備が出来ていませんでした。

塚田隆敏委員は、「これまで名立区は入らないと言われていた。ウンをつかれた感じがする。13区は13区の特徴ある発展をさせていかなければならない。集約が進んでいったらどうなるか不安だ」とのべ、不信感をあらわにしました。内山委員は、「資料をもらった時の第一印象は声の大きな人の意見を取り入れて簡単に変えられたなと感じた。劇的にこのように変える決断をした根拠を示してほしい。方針を示すなら裏付けとなる資料が必要だ。もっと具体的な方針を示すべきだ」と訴えました。石平委員は、「総合事務所がこのままでは立ち行かなくなるというならば、数の根拠を示さなければおかしい」「(集約総合事務所を決めるにあたって)各指標をそれぞれ並列にしたものを出したり、割合を出したりして単純に当てはめている」「職員の分散配置についての説明を見ると、1年のうち10ヶ月も分散するようになっている。これなら集約しない方がいい」と批判しました。

「雪掘り道場を」「もつと子どもが遊べる場を」などの提案も

中山間地対策特別委が若者と意見交換会

中山間地対策特別委員会主催の「若い人たちの意見交換会」を安塚コミュニティプラザで先月29日に開きました。上越市議会が若い人たちとの意見交換会を開くのは初めてです。会には大島、安塚、牧、浦川原、清里などから

13人集まっていた。ただきました。そのうち5人は女性でした。

意見交換会で

は、「屋根の雪下ろしは楽しい。雪掘り道場を開設するとい



いのではないのか」「集落から転出した人にも呼び掛けて、集落の草刈りボランティアをやってもいい、終わってから飲み会をやったらどうか」「子どもがほくほく線を利用して高校に通学しているが、駅までのバスの時間帯がうまくない」「中山間地でも働ける場所がほしい。中山間地で新しい雇用開拓の環境作りが必要ではないか」「婚活が大事だ。独身者対策を強めてもらいたい」「長岡の越後丘陵公園のような公園がほしい」「中山間地の山里、雪も降る里こそ遊び場になるのではないか」「雪をプラスに転じて、やる気のある若者が育つようにしたらどうか」などの発言が次々と出ました。

今回の意見交換会では、今後の中山間地対策を考えるうえでいくつもヒントをもらいました。たとえば、「いきなり、中山間地に定住というとなかなか難しい面もある。窓口をたくさん作ってあげるのもいいのではないか」という視点、これは思いつきませんでした。雪の問題をやっかないなものとしてとらえるだけでなく、楽しむ対象としてとらえることも大事だということを再認識しました。転出した人たちに對して「帰ってこいサイン」を送るといふ話も良い提案でした。意見交換会のまとめでは、今後もちょうじの会をやってほしいという声を紹介されました。ぜひ続けるよう頑張りたいと思います。

まあ、よく集まったもんです。竹平の「のうの」（屋号）系統のいとこは一九人いるのですが、そのうち一四人も集まったのです。あつ、すみません、連れ合いと一緒に人もいたので一六人かな。何に集まったかですって、「いとこ会」です。

「いとこ会」は昨年、六人ほどで一回やつていたのですが、今春、埼玉の叔母が亡くなった際、今度は全員に声をかけて越後湯沢でやるよよという事になり、今回、千葉のエツちゃんや埼玉のトモチちゃんなどが骨を折ってくれて実現しました。

会の名前は「のうのいとこ会」。葬儀や法事以外でいとこたちが十数人も集まるなんてもちろん初めて。宴会が始まってからの自己紹介がばかかった。子ども時代のことや近況などを語ったのですが、一番多く出た話は寝小便の思い出でした。

最初に寝小便体験をしゃべったのは弟のイサムです。お盆に「のうの」や「足谷」（屋号）に泊まったときのことを思い出したのでしよう。「夜、いい夢を見ると寝小便しちゃって、昼寝をしたときもネシヨンベンしちゃった。そのたんびに布団や毛布をぬらすという事で〇〇〇〇の先つちよを押さえられたもんで、いまだに〇〇〇〇が変形していて、大人になったら一〇人も女性を泣かせることになっちゃった」と言う

と、宴会場は爆笑につつまれました。もちろん、最後の話は作り話です。司会に促され、「ヨシッ」と声を出して立ちあがったのは太田市に住むタカジさん。「いまだに忘れないのは『のうの』のおじいちゃんの話になって、冬場、わら

布団に寝るとザワザワと音がして……、でも、暖かかった。亡くなったミツちゃんを子もりしたんだけど、あの子もいい子でね……、だでも、あの子が背中中で寝てしまつて、ぬるつとしたもんが流れた。家の人に言えなかったな。ま、その後、時代は流れて、いまここにいますマチョコと合体することになりましたが」と語りました。すかさ

ず、誰かが、「合体しちゃ駄目じゃないか」とヤジを飛ばし、再び会場は笑いの渦に包まれました。

どうも、「のうの」の系統はみんな寝小便をしたようです。東京のタダオさんの後に自己紹介した東鳥越のカチャも、「『のうの』のフミエイさんをぶっていたら、背

中でもらしちゃった……」とやっていました。いとこのほとんどはいま、五〇代から七〇代です。子ども時代は食糧難で、いつも

食べ物のことが頭にありました。嶺のセイゴさんからは柿、「のうの」のフミエイさんからはウサギの肉の話が出ました。なかでもみんなが注目したのは肉の話でした。

ある土曜日のこと、フミエイさんは足谷へ泊まりに出かけました。そこで伯母さんが出してくれた肉を初めて食べたことについて、フミエイさんは語りました。

「足谷の谷一郎さんは鉄砲うちの達人だったから肉があるんです。亡くなったばあちゃんから『ほら、食べる、食べる』と言われて、焼いてもらって、世の中にこんな

にうんめもんあるがかと思つた」話を聴いていた人たちは肉を食べたときのことを懐かしく思い出していました。いとこ会の宴会は二時間飲み放題。会では、亡くなった人や都合で参加できなかった人の話も出ました。東鳥越のカチャは、「みなさん、ちよつと聞いてください。今朝、尾神のムツコから電話来て、『姉ちゃん、おれ、湯沢に行つて寝ていた夢を見た』てがね。そして目を覚ましたら家の布団だったと言うんです」と紹介すると、大

きな拍手が起きました。次回はムツコさんも参加できる場所でやりたいもんです。

GPSを13区にも導入

今年度の除雪計画が30日の市議会建設企業委員会で発表されました。

それによると、車道除雪の延長は1704キロで、322台の除雪車が作業を行います。除雪延長は昨年度よりも約5キロ伸びました。歩道除雪は、総延長が132キロになりました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	10月24日(水)	10月31日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.040	0.057
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.043	0.046
頸南消防署	0.050	0.040
東頸消防署	0.050	0.047
高士分遣所	0.053	0.050
名立分遣所	0.050	0.040

た。昨年度、合併前上越市の区域にて除雪車の位置を特定するシステム）は13区にも導入されます。

車道除雪延長及び除雪車の増減

地区	平成24年度			平成23年度		
	除雪延長(km)	除雪車台数(台)	1台当たり除雪延長(km)	除雪延長(km)	除雪車台数(台)	1台当たり除雪延長(km)
上越市全体	1,704.56	322	5.29	1,699.34	325	5.23
合併前上越市	747.88	141	5.30	742.55	139	5.34
安塚区	71.61	12	5.97	71.39	13	5.49
浦川原区	67.11	11	6.10	66.86	10	6.69
大島区	33.04	18	1.84	33.04	19	1.74
牧区	72.30	14	5.16	73.77	16	4.61
柿崎区	124.59	14	8.90	123.62	16	7.73
大潟区	78.26	17	4.60	78.26	17	4.60
頸城区	106.52	19	5.61	106.22	19	5.59
吉川区	86.25	13	6.63	86.20	13	6.63
中郷区	24.12	10	2.41	24.49	10	2.45
板倉区	97.62	18	5.42	96.38	18	5.35
清里区	50.70	8	6.34	51.10	8	6.39
三和区	102.63	17	6.04	102.83	17	6.05
名立区	41.93	10	4.19	42.63	10	4.26